

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和8年度病害虫発生予察防除情報第8号

大豆・ばれいしょ・野菜類・花き類 ヨトウムシ類（ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ）、オオタバコガの防除対策について

ヨトウムシ類とオオタバコガの9月下旬のフェロモントラップ調査において、誘殺数が急増しています。今後、成虫の産卵と幼虫のふ化に伴い、被害の発生が予想されます。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) ハスモンヨトウのフェロモントラップの誘殺数は、諫早市において9月6半旬に急増した（図1）。
- (2) シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（諫早市、雲仙市）の誘殺数は、9月6半旬に急増した（図3、4）。
- (3) オオタバコガのフェロモントラップ（諫早市、雲仙市）の誘殺数は、諫早市では9月5半旬以降増加しており、雲仙市では前年度よりも早い9月1半旬から誘殺がみられた（図5、6）。
- (4) 気象予報（福岡管区气象台 令和8年10月1日発表）によると、向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みか少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

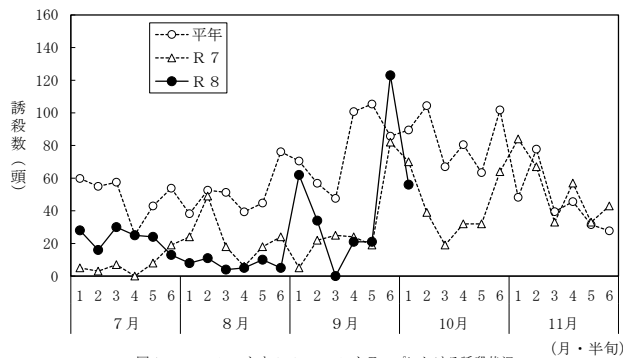


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況
(諫早市小船越町)

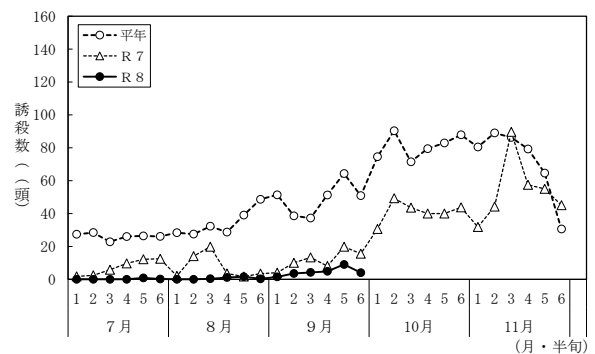


図2 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況
(南島原市南有馬町)

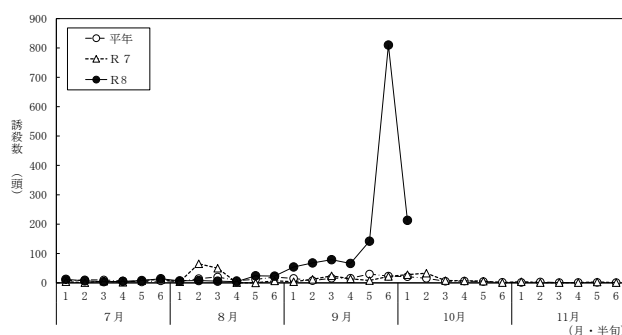


図3 シロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越町）

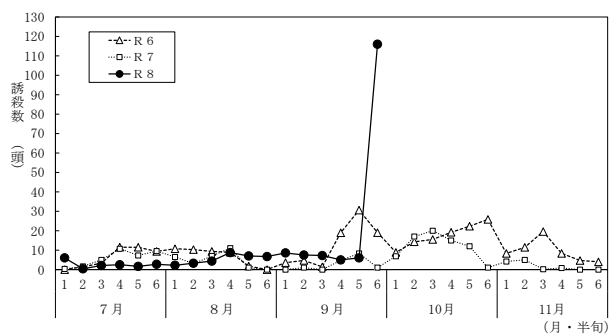


図4 シロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況（雲仙市吾妻町）

※R 6年6月から調査開始。R 7年は7月1日から調査開始。

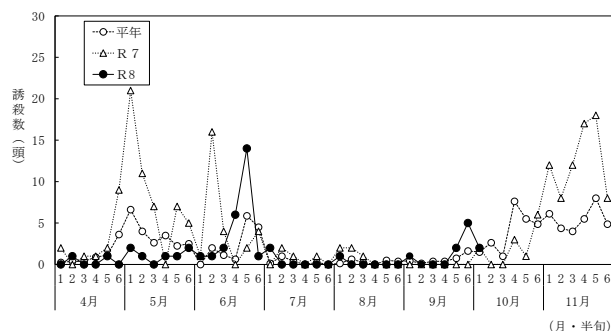


図5 オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越町）

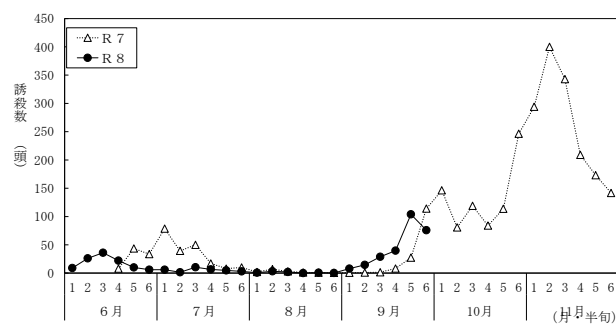


図6 オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況（雲仙市愛野町）

※R 7年6月4半旬より調査開始

2. 防除対策

- (1) 圃場周辺の雑草は増殖源となるため、除草を徹底する。
- (2) 老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので若齢幼虫期に薬剤散布する。
- (3) 大豆では薬剤防除履歴等の違いにより、圃場ごとの発生状況が大きく異なっているため、圃場の発生状況をよく確認する。新たな白変葉や幼虫の発生を確認した場合は、早急に防除を行う。
- (4) ブロッコリー、レタスなど今後、定植する圃場においては、苗に薬剤のかん注処理や粒剤処理を行う。また、すでに定植した圃場で薬剤のかん注や粒剤を処理した圃場においても、定植後3～4週間以上経過している場合は、発生状況の把握に努め、発生初期に薬剤防除を行う。
- (5) 施設栽培の野菜類・花き類では施設開口部を防虫ネット（4mm目以下）で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
- (6) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和8年長崎県病害虫防除基準の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス

： <https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/JPP/index.html>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

